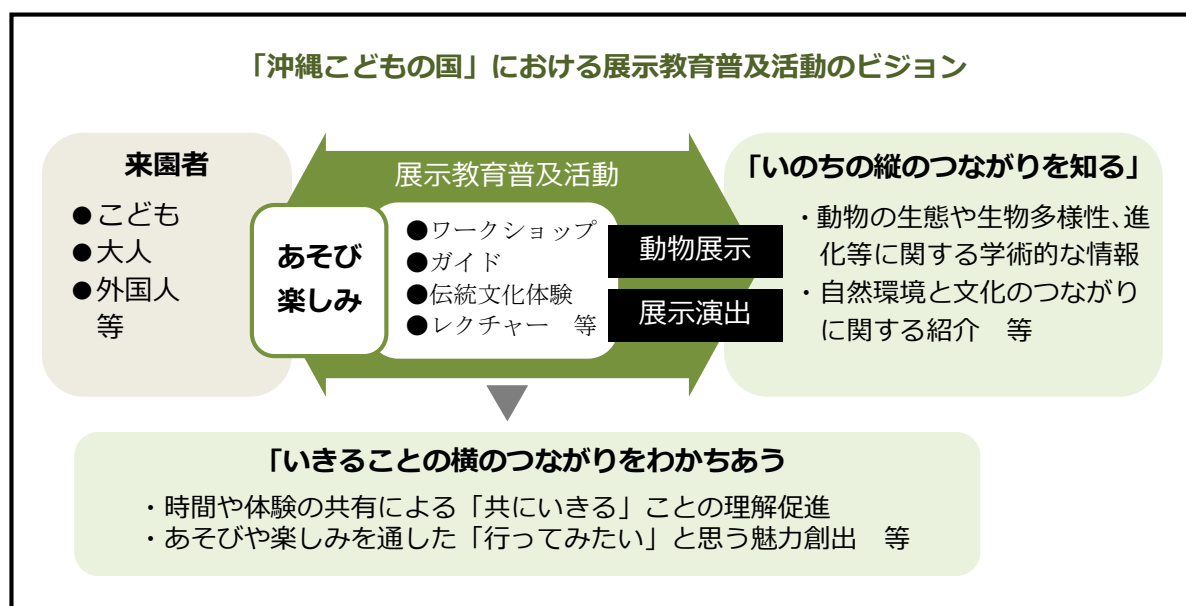


第6章 展示教育普及計画

(1) 基本的な考え方

「沖縄こどもの国」においては、基本理念をふまえ、多様なテーマに基づいて展示教育普及活動を展開し、展示だけでは伝えられない多様な情報の提供や理解の促進を図る。

展示と同様に、展示教育普及活動においても、あそびや体験を通して気づきやまなびにつなげていくことを重視する。展示教育普及活動において多様な来園者が交流し、時間や体験を共有することは、基本理念の実現に向けて大きな効果をもたらすものである。そのようなことから、日本一ユニークな施設として、「沖縄こどもの国」が持つ魅力と可能性を活かし、持続的・発展的に展開する。



(2) 「沖縄こどもの国」において育むもの（育成する人材）についての考え方

基本理念をふまえ、「沖縄こどもの国」において育成する人材は下記のようなものとする。

いのちのつながりの大切さを感じ、理解することで、そのつながりを未来に向けて残し、伝えていくためにできることを自ら考え、行動することができる人材

世界中の人々が多様な価値観を持っていると感じ、理解することで、「共に生きる」ことの大切さに気づき、他人を尊重しながら新しいつながりをうみだしていくことができる人材

家族や先祖等とのつながりを感じることで、自らのいのちの大切さや多様なつながりのなかで生きていくことの大切さを理解することができる人材

(3) 展示教育普及活動の手法と考え方

展示教育普及活動は、動物展示及び展示演出を活かし、展開する。
 具体的には、下記に示す内容が想定される。

■ 展示教育普及活動の展開

分類	展開
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 各ゾーンのテーマをふまえ、来園者が参加・体験しながら多様な発見をすることができるプログラム。 こども、親子、大人等、多様な対象に合わせた多岐にわたるプログラムを企画し、毎日何らかのプログラムが実施されているようにする。 多言語対応を行い、通訳が伴う展開や外国語による展開等を図る。 ワンダーミュージアムにおいてこれまでに蓄積されたノウハウを活かし、あそびを通して気づきやまなびが得られるプログラムを開発し、園内全体において展開する。
アニマルガイド	<ul style="list-style-type: none"> 飼育員やスタッフ等による、動物たちの紹介を行う。「沖縄こどもの国」においては、飼育員により個々の動物の個性を重視した飼育、展示がなされている。また、来園者も個々の動物たちに親しみを覚え、リピーターとなっている。単に動物の生態や行動のガイドではなく、動物たちと人をつなぐ絆をふまえ、「沖縄こどもの国」ならではの個性のあるガイドを展開する。 飼育員にかかる負担を軽減するため、スタッフによるアニマルガイドを推進する。そのためにスタッフの人材育成を持続的に推進する。
ネイチャーガイド	<ul style="list-style-type: none"> 園内の多様な空間等を案内するガイドを展開する。 拡張区域において良好な自然環境が残されることから、沖縄ならではの豊かな自然環境を活かし、植生や昆虫、野生の生き物たちの紹介を行う。
伝統文化体験	<ul style="list-style-type: none"> 琉球弧ゾーンやふるさと園において、沖縄の伝統文化体験プログラムを展開する。島ことばによる解説や三線等による音楽の演奏等、来園者とコミュニケーションを図りながら、スタッフ・演者等が沖縄の文化について紹介する。 園外から広く人材を採用し、地域活性化にもつなげる。
講座・レクチャー	<ul style="list-style-type: none"> 動物や自然、文化等をテーマとする講座やレクチャーを開催する。 こどもから大人まで、対象に応じて内容やレベル等を設定し、展開する。こどもに対しては「おはなし会」や動物たちの特性を紹介するパフォーマンス等、体感やあそびの要素を重視する。大人に対しては美しい映像や音響等を活かしたプログラムを展開する。

(4) 展開にあたって

展示教育普及活動に関しては、ハード、ソフトそれぞれにおいて、下記の事項を与件として想定する。より効果的な展開に向け、望ましい環境・体制づくりを行う必要がある。

■ 展示教育普及活動の展開にあたっての与件

ハード/ ソフト	与件
ハード関連	<p><ゾーン関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 各ゾーンの動物展示に近接する場所に、教育普及活動のための広場スペース、動物をよりいきいきと見ることができるスポットの設置等を行う。 多様な活動内容が展開されることを想定し、道具運搬等、活動に用いるワゴンカー等の車両が利用できる動線も設定する。 <p><パビリオン関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 各ゾーンのパビリオン内に、教育普及活動のためのスペースを設置する。 多様な活動が展開されることを想定し、テーブルや椅子等の什器、こどもたちのあそび・体験等に利用するマット等の道具とそれらの収納スペース等を設置する。また、水回りについても設置する。 <p><園路関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 園路等も観察体験等のフィールドとなることが想定される。突然の降雨対応のための東屋等を一定距離間隔で設ける。 各ゾーンのパビリオンに救護室を設置し、急病やケガ等に対応できるようにする。等
ソフト関連	<p><企画関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 動物園、ワンダーミュージアム、チルドレンズセンターが連携し、多様な活動が企画展開できる運営体制を構築する。 <p><推進体制関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日、何らかの活動が展開されているようにするため、企画担当を支える実施担当グループ（支援スタッフ等）等を配置し、柔軟性のある運営体制を構築する。 来園者のニーズにあった展開が持続的に図られるよう、来園者の意見を収集し、企画立案に反映する仕組みを構築する。 等